

中学生とのタウンミーティング（要約）

テーマ：未来の松山のこと、私の住む地区のこと

令和6年7月30日（火曜日）

【市長】 皆さん改めましてこんにちは。今日は夏休みの大切な時間にお集まりをいただきまして本当にありがとうございます。また、生徒さんを引率していただいた先生方、本当にありがとうございます。まずこれから申し上げなければなりません。先日の大雨で土砂崩れが発生しまして、松山市内で3名の方がお亡くなりになりました。亡くなられた方々、そしてご遺族、ご関係の皆様にご心からお悔やみを申し上げます。また、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。1日も早い復旧に全力を挙げてまいります。このタウンミーティングですが、市長と市民の皆さんが意見交換をして、松山市のまちづくりに生かしています。私が市長になってからずっと続けていまして、今日で138回目になります。普段のタウンミーティングは、地区別、世代別、職業別ってやっています、松山市は旧の松山市、旧の北条市、旧の中島町合わせて41の地区に分かれます。その地区ごとのタウンミーティングは大体もう3巡り、それぞれしています。それと、世代別のタウンミーティングというのは、例えば子育て世代の方々に集まっていたりとか、働き盛りの方々に集まっていたりとか、皆さんのおじいちゃんおばあちゃんに当たるシルバー世代の方々に集まっていたりとか、また高校生とのタウンミーティングをしたことも、大学生、専門学校生等もあります。中学生の方々とタウンミーティングというのは、今回初めてということになります。また職業別のタウンミーティングというのは、農業をやっている方々に集まっていたりとか、商店街の方々に集まっていたりとか、いろんな地区別、職業別、世代別でタウンミーティングをしています。今日ですね、あちらに消防や救急隊員がいますけど、参加した皆さんから、松山市の取り組みがよく分かって勉強になったという声をいただきましたので、意見交換の合間に、広報タイムを設けています。現地現場で働く市の職員が皆さんの生活に役立つ情報をご紹介します。今日は消防から来てもらって、お話をいたしますので、楽しみにしてもらったと思います。松山市では子どもの皆さんをこれからもしっかり支えていくため、どんなことをしていくかを定める「こども計画」を、たくさんの方のご意見をいただいて作っています。今日のタウンミーティングでも松山市を良くする意見やアイデアをどんどん発言していただけたらと思います。いただいたご意見はできるだけこの場でお答えをします。ただ、国と関係をする案件とか、愛媛県と関係をする案件とか、財政的によく考えなければいけないもの、そういったものは一旦持ち帰り、検討させていただいて、1カ月をめどに必ず皆さんにお返事をするという、聞きっぱなしにしない、やりっ放しにしないというのが、松山市のタウンミーティングの特徴です。今日は中学生の目線から自由にお話してくれることで、あんまり緊張しないで、肩肘張らずに意見交換ができればと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【北条北中】 北条北中学校です。私達北条北中学校の意見は、「電車で高校に通う生徒の負担を減らしたい」です。意見の内容を發表します。私達が住む北条地区には、高校は北条高校しかありません。その北条高校も、県立高校の再編により、全日制ではなくなります。そのため、多くの生徒が、松山市街や今治市へ電車で通学しています。電車通学には定期を使いますが、定期代が高額で、兄弟や姉妹がいる家庭には大きな負担になっています。そこで、電車で高校に通う生徒に対して、補助金などの公的な支援があれば、家庭の負担軽減になり、進路選択の幅を広げることができるのではないかと考えました。そのような支援は可能でしょうか。

【教育総務課長】 早速のご意見ありがとうございます。愛媛県では2026年度に北条高校を全日制の高校から昼間定時制と通信制で編成する北条清新高校に再編するとなっています。現在、少子化による生徒数の減少や、学び方の多様化もある状況で、皆さんを取り巻く環境というのは非常に大きく変わっている状況じゃないかなと思っています。その中にはありますけども、市内には北条に限らず山間部の地区であったり近くに高校がないという地区も多くある状況です。電車だけでなく皆さんバスや自転車など通学している方も多くいらっしゃると思います。通学方法や地区というものを限定して支援っていうものは、なかなか今の現状では難しいんじゃないかなと考えています。

【市長】 ご意見ありがとうございます。あんまり難しくは考えないでください。できるだけ優しくお伝えします。ご存知かもしれないけども、私は北条南中校区、河野地区に実家があります。粟井駅発7時26分発いう電車で松山まで通っていました。電車で通う人、バスで通う、自転車で通う人、近かったら徒歩で通う人もいますよね。その人たちにどういう形で補助をしていくのかっていう、なかなかお金の設定とか難しいでしょう。一つご紹介をすると、私が市長にならせていただいたときは、これはもっともっと子育て家庭の支援をしていかないといけないなと思っていました。病院をイメージした際、病院で入院と通院があるじゃないですか。私が市長になったときは、入院についても通院についても、子供の医療費は、幼稚園さん保育園さんまでは医療費が出ていたのかな。でも、これはもっと支援しないといけないと思って、順番に小学校3年生までとか、小学校6年生までとか中学3年生までとか、高校3年生までとか、そういう形で支援を広げてきました。今、松山市においては、入院についても無料、高校に行かない方もいらっしゃるから、18歳まで。18歳の年度末まで入院についても無料にしています。ずっと拡大をしてきました。やっぱり制度設計が難しいので、平等にといういい形で制度設計をすることが大事なので、医療費の形でやらせていただいています。やはり子育て家庭への支援というのはとても大事だと思いますから、これからは皆さんの声をいただきながら、どういう支援をするといいのかなっていうのを考えながらやっていきたいと思っています。ご意見ありがとうございます。

【拓南中】 拓南中です。市長さんにとって、松山市の魅力や誇りは何ですか、教えていただきたいです。

【市長】 はい、コンパクトな質問ありがとうございます。ちょっと、これを見てもらおうか。みんなの声をできるだけ聞きたいけん、あんまり長いこと喋ったらね、市長ばかり喋ってしまうとなったらいかんので、できるだけコンパクトに喋ります。松山市は中心部の賑わいだけじゃなくて、海があるじゃないですか、山があるじゃないですか。全国にはね、市の数で言うたらおよそ800あるんです。町の数で言ったらおよそ800あるんです。村の数はちょっと数少なくても200ぐらい合わせて1,800の市町村があります。ちょっと合併で減って、全国には1,700の市町村があるんですけど、海がない町ってありますよね。山がない町っていうのもあります。お隣の松前町さんなんて、あんまり山の感じはないよね。松山って海もあれば山もあるし、ほどよく都会やし、ほどよく田舎なんですよね。松山の中島は中島の良さがあるし、北条は北条の良さがあるし、松山でも細かく分けていくと、久谷は久谷の良さがあるし、それぞれ良さがあります。私が魅力的だなと思うのは、道後温泉ですね。日本最古の道後温泉と言われます。この間7月11日から5年半ぶりに全館営業再開したでしょ。それはみんなの世代のためよ。僕ら世代でしんどいことをやる。僕ら世代で工事は終わらせる。子どもや孫の世代に道後温泉をちゃんと引き継いでいくっていうことで、工事が終わりました。皆さんに引き継げたいって思ってます。松山城も江戸時代以前、お侍さんの時代ね。江戸時代以前に作られた天守っていうのは、ちょうど1ダース全国に12しかない。そのうちの 하나가、松山城です。あと、今、テレビ番組で、夏井いつき先生がグーッと知られるようになりましたけど、俳句文化も全国どこでもあるわけではない。あと、多島美、多い島の美しさって書きますが、多島美っていうのも松山の魅力です。島が全然ない町もあるけんね。あと、紅まどんとか、せとかとか美味しい食べ物もあります。路面電車というのは全国18都市しか走っていません。なぜかという、これから年とって、運転免許の返上を考えなければならなくなったときに移動できないじゃなくて、路面電車で移動できますよね。環境に優しいですよ。CO2排出しない路面電車も宝物です。松山市内には、アニメ、映画、ドラマの舞台になった場所たくさんあります。先月から舞台の場所の情報を集めたウェブサイト「松山聖地巡り」っていうのを公開しました。松山を訪れるきっかけを作って、国内はもとより外国からの観光客も増やしていきます。中学生の皆さんも故郷松山の魅力を見つけて、松山をさらに好きになっていただけたらと思います。よろしくお願ひします。

【椿中】 椿中学校の意見は、「いじめ」についてです。意見の内容は、松山市長が最も効果的だと思ういじめの未然防止策についてご意見を伺いたいです。

【市長】 では皆さんにわかりやすく、またスライドを用意しています。子宝っていう表現があります。本当にみんなはかけがえのない存在で、子宝です。宝物です。地域の未来を担う、日本の未来を担う、世界の未来を担う、本当にみんなは宝物、大事な存在です。松山市では今日先生方もいらっしゃるけど、先生方と一緒にいじめられる側を絶対を守るっていう強い意志を示して、子どもたちが安心して過ごせる学校作りに取り組んでいます。

子どもたち同士がありのままの自分を受け入れて、お互いに認め合うことがいじめの未然防止の一つだと考えています。皆さんもご存知でしょう。毎月10日はいじめゼロの日として、学校で挨拶運動をしています。また、市内の全ての小・中学校の代表が集まって話し合いをする、「いじめ0ミーティング」を続けることも大事だと考えています。人にとってコミュニケーションがとても大事です。自分にしてもらって嬉しいことをして、嫌がることはしないというのが基本中の基本だと思います。いじめをなくすのに繋がると思います。万が一いじめに悩んでいるときは、1人で抱え込まずに、遠慮なく学校の先生や各中学校にいるスクールカウンセラーに相談してください。松山市では、いじめほっとらいんや愛媛県では、いじめ相談ダイヤル24などの電話の相談も受け付けていますのでご利用ください。一つだけお話をさせていただきます。僕もいじめられたことあるよ。僕は松山市立清水小学校お城の北の清水小学校だったんだけど、父親が県職員だったので、中学校は伊予三島市、今の四国中央市で、もうほとんど香川県のところで過ごしています。中学1年生から3年生までずっと伊予三島だったんで、清水小学校での友達関係は、すばっと切れるんですよ。あんまり大きな中学校じゃなかったから、転校生っていうか他の学校から来る子は目立つんです。「松山帰れ」とかってよく言われましたよ。でも、家族で来ているから、松山帰れって言われても帰れないでしょ。どうしたらええんか。今日先生方いらっしゃるからいい解決方法ではないと思うんだけど、いじめっ子だった子と殴り合いの喧嘩したのよね。もうたまらなくなって。そしてら野志くんってあのニコニコ笑っているだけの子じゃなくて、何かやるなみたいな、喧嘩もするんだなみたいな、そんなことで、それからそういうことを言われなくなりました。が、あの喧嘩するのをおすすめしているわけではないですよ。あのもう、絶対先生方に相談してください。しにくいなと思ったら、今の時代ですからいじめほっとらいんとかもあるので、どうぞ言ってもらった方がいい。で、今ね、いじめの件数が増えてるとかってあるけど、あれは早くそのいじめを確認していることなんです。やっぱりいじめが陰湿化するのはよくないんで、遠慮なく言ってもらった方がいいです。よろしくお願いします。

【桑原中】 桑原中です。私達桑原中学校の意見は、「南海トラフに対してどのような想定や準備をしておくべきか」です。最近、南海トラフについて危惧されているニュースをよく多く見かけます。南海トラフ地震で想定される規模はどの程度なのか、また地震が起きた際、避難するのはもちろんのことですが、どのような準備をしておくべきなのか。被災後の復興について、私達には何ができるのか教えていただきたいです。

【危機管理課長】 ご質問ありがとうございます。南海トラフ巨大地震を、マグニチュード9.0の規模と想定した場合、松山市内のほとんどで、震度6強、または6弱で最も条件が悪い場合は、震度7の揺れも想定されています。津波は最高水位3.9mとなる他、海岸部の埋め立て地や重信川、石手川の流域は、地震の揺れで地面がドロドロになる液状化が想定されています。災害発生に備えて、水や食料の他、携帯ラジオや懐中電灯、携帯電話の充電器など、すぐに持ち出しできる品と家には最低1週間分の備蓄品を準備しておきましょう。

準備物は各家庭に配っています防災マップを参考にしてください。地震など大きな災害があったときは、まず自分の命を守ることを第一に考えてください。そのために普段から防災、ご家庭でしっかり家具を固定したり、防災訓練に参加して防災の知識を学んだりしてください。そして、怪我をしないよう、自分の身を守り、学んだ知識を生かして、復興に向けてご家族や周りの人を助けてあげてください。

【市長】 私から追加です。防災マップを各ご家庭に配っています。松山弁で言いますけど、もんたら、今日いんだら、防災マップがあるかどうか確かめてください。なかったらまた言うてくれたら、市役所に言うてくれたらお渡しできます。中には役立つことがいっぱい書いていますから、参考にしてください。あんまり長くなったら全部の学校さんの意見聞けなくなったらいけないので。津波のを出してもらっていいですか。これです。南海トラフ地震って皆さん聞かれたことあると思いますが、今の想定が津波の高さ、南海トラフ、高知沖が震源だった場合、土佐清水が22分後に35mって書いていますね。次、30分後、宿毛市で26m、これ津波の高さです。愛南町が16.7m、35分後、宇和島市が48分後10.1m、八幡浜市72分後9.1m、伊予市の海岸で181分で、4.3m。こう回ってくるんだな、高さは低くはなってくるんだなっていうのは、お分かりいただいたと思います。これは松山市由良ですから興居島なんですけど、199分後となっています。ということは、3時間はある。3時間あったら逃げれます。3.9mっていうのも海って、引き潮と満ち潮があるでしょ。大潮と小潮とかってあるでしょ。最も高い。満潮のときを想定して、それプラス津波の高さで3.9mと想定しています。時間はあります。ですので、あの東日本大震災のように、たちまちくるというわけではない。東日本の海岸の状況と松山沖の瀬戸内海の状況は違うので、イコールではない。私は東日本大震災のときに、ちょうど東京に出張していて、羽田空港のロビーで一夜を明かすという経験をしているんですが、羽田空港の外で3時間タクシー待ってたもんだから、もうロビーの中に入ったら毛布とかいろいろ配られるんだけど、並ぶ気にならないんですよ。おじいちゃんおばあちゃんとか子どもの姿が見えるから、もういいです、おじいちゃんおばあちゃんとか子どもさんにお渡ししてくださいっていう気持ちになります。みんなが備蓄してもらったら、その瞬間に好みのものが手に入るよね、並ばなくても手に入るっていうことなんで、備蓄ってとっても大事なんです。行政としてもしっかり備蓄していきますので、皆さんも備えていただいたらと思います。

【北中】 北中学校です。私たちの地域には、一体走りという伝統行事があります。一体走りとは、若い人たちが各地域の神輿を担いで、勝岡神社の参道を通る行事です。とても盛り上がる行事で、これからも地域に継承していきたいのですが、1つ問題点があります。それは、地域の人々の高齢化によって、若い人が少なくなり、行事に参加する人が少なくなるということです。そこで、2点お伺いしたいことがあります。1点目は、「地域の伝統行事を守っていくために、どのようなことが効果的」なのでしょうか。2点目は、「伝統行事に参加する人数を増やすためには、どのようなことが私たちにできる」なのでしょうか。

【市長】 みんな、ひょっとしたら、北中さんの校区の一体走りって、ニュースなんかで見たことがあるかもしれません。ふんどし姿の方が、お神輿を担いで走っていくっていう行事です。私のばあちゃんは、和気の円明寺のそばの醤油屋の娘だったので、「野志さんも和気の人やろがな、あんたも裸になっておやりな」って言われるんですけど、いやあ、こらえてくださいと言って、1回も出たことはないです。伝統行事を守るには、若い人の力は大事です。北中の皆さんもね、一体走りに、中学生のお神輿もあるから参加されていると思います。皆さんの世代で受け継いでいってもらったらと思います。大人から子どもに伝わっていくんで、大人とのコミュニケーションは大事ですよ。いきなり地域に入っていくのは難しいと思うんで、こういった地域の公民館や、まちづくり協議会がやっているイベントや防災訓練などに積極的に参加することが大事だと思います。例えば、地区によっては、3世代ふれあい交流会とか、新春かるた大会とか、防災訓練とかやっています。でね、地区の大人の人から、「市長、あんまりね、参加してくれんよ。どうやったらいいかな」って言われるんですが、結構、防災訓練は皆さん関心が高くて、参加率高いんです。ですんで、そういう地域のイベントとかに参加して行って、大人とも話せる関係を作る、そういう中で、地域に入っていくのが方法としていいのではないかなと思います。コロナの時に言われたのが、「市長、もう獅子舞が受け継がれんよ」って言われました。コロナの時に、なかなか接触が難しかったです。3年空いちゃうんですよ。大人が子どもに教えるんですけど、それがなかなかできなかった。これ、とっても大人の方たち悩んでらっしゃいました。今、コロナが2類から5類に変わったから、だいぶ接触が元通りになってきました。やっぱり大人から子どもに継承していかないと、伝統文化は継承されないんで、皆さん大切な役割を担っている人たちになります。どうぞ参加していただいたらと思います。よろしくお願いします。

【小野中】 小野中学校です。よろしくお願いいたします。私たちの質問は、桑原中学校さんと似ていますが、「松山市として、南海トラフ巨大地震などの災害が起きた時に、中学生にしてほしいことは何か」です。現在、能登半島地震のような大きな地震や豪雨災害など、いつ災害が起こるか分からない中で、災害が起きた時に迅速に対応することが求められていると思います。私たち小野中学校では、地震や豪雨などの災害が起きた時に迅速な対応ができるように、小野地区にどんな影響があるのか、中学生にできることは何なのか、という防災学習を行いました。そこで、ぜひ市長さんに、南海トラフ巨大地震などの大きな災害が起きた時の、松山市の中学生にしてほしいことを教えていただけたら嬉しいです。よろしくお願いします。

【市長】 分かりました。これはまず、危機管理課長さんからお願いします。

【危機管理課長】 ご質問ありがとうございます。大きな災害が起きた後の復興で一番大事なことは、できるだけ早く、皆さんの生活を元に戻すことです。松山市ではまず、人命救助に全力を尽くします。その後、建物被害を調査して、様々な支援を受けるために、被害があったことを証明する罹災証明書を発行いたします。また、家を失った方をサポートするため、

仮設住宅の建設のほか、子どもや高齢者に対する心のケア、見舞金の支給、税金などの免除など、市民の皆さんが1日でも早く元の生活に戻れるために、市役所内の各部署が連携して取り組みます。南海トラフ巨大地震が起きた時の松山の被害想定は、最大で死者715人、負傷者5,707人、全壊する建物35,759棟、半壊は25,974棟になるなど、大きな被害が予想されています。この被害を少しでも減らすために、松山市では、学校や市の施設の耐震化のほか、市内各地の指定避難所に食料や物資を分けて置いたり、地域の防災訓練に力を入れたりするなど、あらゆる対応策をとっています。

【市長】 この後、家具転倒防止対策の必要性について話してもらおうと思いますが、これを中学生の皆さんには、家庭の方と一緒にやってほしいこととなります。松山市は、東日本大震災の後、南三陸町が支援の対象になりました。私も2回、東北、南三陸町に行かせていただきました。中学生にやれること、いっぱいあります。今の津波の状況は、だいぶ時間があるんだなっていうのを分かっていたらと思うんですけど、おじいちゃんおばあちゃんの手を引っ張ってとか、例えば車椅子だったら、車椅子の後ろを押してあげてとか、そういうことは中学生にできますよね。子どもやけん何もできんではなくて、小学生の子もできることがあるけん、松山はジュニア防災リーダークラブっていうのを作って育成しています。防災の知識を皆さんに知ってもらい取り組みをしていますが、中学生できることいっぱいありますから、災害の時に動ける人になっていただけたらと思います。

広報タイム①「家具転倒防止対策の必要性」

【久谷中】 久谷中学校です。よろしくお願いします。質問は、「過疎化、少子化への対策」についてです。私たちは総合的な学習で、過疎化している地域の未来を考え、その地域が無くなるのを防ぐための対策について考えています。授業では、商業の活性化やイベントの増加によって、人を呼び込むのがいいのでは、という案が出ています。松山では、未来の過疎化や少子化を防ぐために、どのような対策を考えられていますか。

【市長】 分かりました。それでは、私の方から分かりやすいように、ちょっとスライドを交えて。松山市、少子高齢化に歯止めをかけるために、様々な対策をとっています。やっぱ過疎化っていうのは、自分たちの住むまちに愛着を持ってもらうことが、とっても大事だと思うんですね。これも皆さんの進路は様々で、自由です。でも、やっぱり高校に行く人が多いかな、高校卒業までに、松山のことを地域のことを好きになってもらいたいという様々な取り組みをしています。少子化に対しては、若い人が安心して結婚や子どもを産めるように、出会いの場作りや、新婚世帯の住宅費用の支援をしています。また、妊娠や出産に不安を抱える方の相談や経済的な支援、また、さっき言ったように、子育て中は18歳までの子どもの医療費を無料にするなど、ライフステージっていうんですけど、ライフステージに応じた、切れ目のない支援をしています。愛着を持っていただくこと、そして、各世代の声をしっかりと聞いて、それぞれの支援をしっかりとしていくということが大事ではないかなと思

います。できるだけ長くないように喋りますが、実は、この日本では、少子化っていうのは、実は30年前ぐらいから、なるぞ、なるぞって言われていたんだけど、抜本的な対策が打たれてこなかったって言われているんです。でも、今、市長をさせていただいて、そんなもう昔のことを言ってもしょうがないんで、できることを一つずつやっていくことが大事だと思います。それをしっかりとやっていくことと、皆さんの住んでいる愛媛、松山、それぞれの地域に愛着を持ってもらうことが大事なので、そういう取り組みをこれからもやっていけたらと思っています。

【余土中】 余土中学校です。よろしくお願いします。私たちの意見は、「中学校の校庭にライト設備をつけてほしい」です。意見の内容としては、余土中学校は緊急時の避難場所にもなっています。先日、夜間に起きた地震がもっと大きく、避難を余儀なくされていたら、少なくとも校庭には避難することができなかったと思います。南海トラフ等、緊急時のために、校庭にライトの設備を整えていただくと、実際に避難される方々も、安心して余土中学校に避難できると思います。

【危機管理課長】 ご質問ありがとうございます。現在、松山市では、皆さんが学校にいる時間を安全安心に過ごせるよう、古くなってきた校舎を計画的に直していく事業を優先して進めています。また、市内の市立小中学校には、災害時に停電することを想定して、発電機とバルーン投光器を1台ずつ置いています。工事現場で見かける丸い電気といいますか、大きいものを1台ずつ置いています。明るさがあるだけではなく、持ち運びができるため、いざという時には使いやすいです。中学生の皆さんには、各家庭でご用意していただく非常用持ち出し品の中に、懐中電灯やヘッドライトを用意しておく、夜間の移動に使えて、安心で便利です。本日、帰られたら、早速ご家族の方とお話してみてください。

【市長】 東日本大震災で、南三陸町、東北に行った経験から、やっぱり水ってとっても大事です。今、学校に応急給水栓を設置するようにしています。それと、マンホールトイレっていうのを設置するようにしています。これは、プールの水を使って、トイレをそのままマンホールに直結させて、トイレの不安をできるだけ少なくするような取り組みです。私らとしても一生懸命備えていきますけれども、みんなでやっぱり備えていくことも大事なんで、よろしくお願いします。

【三津浜中】 私達の住んでいる三津浜には古い家などがたくさんあります。そこで何か保全をする活動などを行っていますか。

【市長】 三津浜は、特にやっていますっていうことになりますね。三津浜は戦争で町が焼けなかったので、100年を超える建物はいっぱいあります。私も南海放送時代に何度も訪れたことがありますけれども、古い町並みなど港町の良い雰囲気が残ってます。魅力的なところだと思います。濱田医院さんって昔の病院の建物ですけども、「三津浜」っていう地名がありますけども、三津の魅力にハマってもらおうっていう「三津ハマル」っていう場所を作

って、こういう建物を「借りたい人」と「貸したい人」をマッチングするっていう、そういう取り組みをしています。これまでに109件がマッチングされています。古い建物がなくなっちゃうじゃなくて、「借りたい人」と「貸したい人」をマッチングするっていうような、そんな取り組みをしています。こういう古い町並みを使って、「チャレンジショップ」というお店出したいなっていう人を後押しするとか、「シェアショップ」というシェアし合って、みんなで何かをやる、こういうショップもやっています。この取り組みは「三津浜地区にぎわい創出実行委員会」って言って、市役所だけじゃなくて地元の人と一緒にやっているんですが、令和3年度に地域づくり表彰で、国から国土交通大臣賞をいただいています。国の方からも、松山市さん、三津浜さんいい取り組みしていますね、と知ってくれています。できるだけいい町並みを残していきたいので、知恵と工夫でいろいろやっている状況です。

【雄新中】 最近、中学生からの海外留学が増えています。また、松山空港から直接海外へ行ける便も増えています。そこで私たちは、松山市の海外留学支援制度について調べました。すると他の県や市よりも少なく、まだあまり知られていないものがありました。例えば四国の中で調べると、徳島県では、学校単位での短期留学のプログラムや、徳島県の旅行会社で作成している留学支援制度など、香川県では「トビタテ！留学JAPAN」という全国規模で募集されている企画に採用されなかった希望者に、新しい留学支援制度を作っています。市長さんは中学生からの海外留学は良いと思いますか。また、松山市の海外留学支援制度を増やすお考えはありますか。

【市長】 なかなかシビアな質問ですね。中学生という感受性豊かなときにですね、国際交流、異文化を体験するっていうのは、とても大事なことだと思います。皆さんご存知のように、「まつやま中学生海外派遣事業」っていうのがあって、姉妹都市・友好都市であるアメリカのサクラメント市、ドイツのフライブルク市、韓国の平澤市にホームステイをするのを、夏休みにいつもやっています。コロナの期間中はできなかつたんですけど、今年もそれぞれ10人で計30の方が海外へ行っています。よく調べたね、知らなかった、教えてもらった。そういう話をいただいたので、ちょっと検討してみます。子どもさんたちが海外を経験するっていうのをもうちょっと増やしたらいいんじゃないかっていうご意見をいただいたので、ちょっと考えさせてください。やっぱり海外を経験するっていうのは大事だと思います。高校で台湾に修学旅行に行くっていうようなところもあるんですけど、台湾って近いんですけど、車の通行レーンが日本と逆なんですよ。もうそれを見るだけでも外国だなっていうのを感じるので、これからますます海外を経験するのは、大事なことになると思います。

【勝山中】 2021年度の愛媛県の犬猫の殺処分数が、犬は260匹で全国3位、猫は489匹で全国7位だと知りました。僕たちの地域でも痩せ細った猫を見かけることがよくあります。そこで、松山市の保護対策や僕たちに協力できるようなことはないのか、教えてください。

【市長】 今、愛媛県のデータが出ました。松山市は、できるだけ殺処分は避けたいということで、犬については平成28年度から、猫については令和2年度から、殺処分はゼロにしています。もう一つ、取り組みを強めたいなということで、松山総合公園に動物愛護センター「はびまるの丘」っていうのを作りました。こちらで、迷い犬や負傷した動物を一時的に保護して、飼い主さんや里親さんのところにお譲りする「譲渡スペース」ですとか、皆さんにいいペットの飼い方をしてほしいんで、飼育の心構えや、災害時にペットと一緒に避難する場合に必要なものなどをパネルで説明をしています。また、地域猫活動っていうのがあります。これは不妊・去勢手術の補助金などを、松山市から支援させていただいてるっていうことです。中学生の皆さんにお願いしたいことは、飼い主のいない猫に無責任にエサを与えないことをお願いしたいです。無責任なエサやりは、フンや尿の臭いで生活環境が悪くなって、不幸な猫が増えることに繋がりますので、飼い主のいない猫には、無責任にエサを与えないことをよろしくお願いします。ペットは家族の一員という言葉がありますけども、もう家族ですので、ペットの命を大事にする、そういう社会を作っていきたいと思います。

【内宮中】 いろいろな世代の人が、幅広い用途で使うことができる広い公園を作ってほしいと思っています。例えば散歩できる場所や小さい子でも遊べる遊具など、大人から子どもまで楽しめる公園があって、公園でボールが禁止されているため、中学生などが公園で楽しめる遊びが限られているので、できるだけ多くの公園でボールを使えるようにしてほしいと思っています。また、トイレの衛生状態が悪い公園が多く、特に私たちの地区だと、やなぎいけ公園、内宮公園、和気公園などが挙げられるので、そうした公園が清潔に保たれるようになったらいいなと思っています。

【市長】 公園を作ることの難しさっていうのがあって、これは土地の提供を受けないといけない、松山市の土地がどこにでもいっぱいあったらいいんじゃないけど、松山市の土地ってそんなにはないんですよ。地域から土地の提供をしてもらわないといけないっていうのと、例えば道路の場所を変わってもらうとか、地域の皆さんに賛成してもらわないといけないっていうところの難しさがあります。今ある公園も、遊具も古くなっていくので、これを維持していくっていうのもちょっと難しい課題です。松山市では、まずは優先して公園の古い遊具の交換や修理を進め、地域の皆さんに安全安心に使っていただく、そして、城山公園を災害時の避難場所として活用できる整備に取り組んでいます。この話しようかな。松山市では市長への「わがまちメール」っていう制度をとっていて、メールが直接市長に届くっていう制度を設けているんです。皆さんと同じ世代、公園のすぐ近くに住んでいる中学生の女の子からメールがありました。どんな内容かというと、「私は公園の隣に住んでいます。私の家に、ボール遊びしている子が、ボールを取りに勝手に入ってくるんです。なんとかしてください」というメールが来たことがあります。なので、公園でボール遊びをする人と、周りの人との関係って大事なんですよ。大事なのはルールです。地域の皆さんが遊び方の利

用ルールを決めたところから整備していきまして、堀江地区で言いますと、平成29年には堀江中央公園が、ボール遊びのできる公園になっています。また、堀江の大西第二区公園っていうのがあるんですが、こちらもボール遊びのできる公園にしました。松山市では、必ず1年に1個はボール遊びのできる公園を増やしましょうねっていうことで、今19まで増えてきました。僕らの世代は、空き地がいっぱいあって、そこで野球とかよくやっていました。でも、もう空き地がだいぶなくなってきました。ですんで、もうどこもボール遊びができなくなっちゃって、ルールをちゃんと決めて、そういうところにはネットをするなどして、ボール遊びのできる公園を増やしていきたいと思います。

【中島中】 私達の意見は、「休日の部活動で船を利用する際に、中学生の船の運賃が下がらないか」です。内容としては、休日の部活動に参加する際の船の運賃で大きな負担に感じることがありました。休日にも部活動に参加しやすくするため、生徒手帳を見れば学割が効くなど中学生の利用料金設定を下げてもらえると嬉しいです。また、一般の島外の中学生たちにも、夏などたくさん遊びに来てもらいたいです。なので、中学生の運賃を安くしてほしいです。

【まちづくり推進課長】 はい、ご質問ありがとうございます。皆さんの生活の足に欠かせない大切な移動手段、この船ですね。フェリーであったり高速艇であったり、これを安く乗れるということができればいいと思っていますが、船をまず運航するためには、たくさんのお金が掛かります。船員さんの給料であったり、燃料費であったりということが掛かってきます。そのため、国や愛媛県、松山市が一緒になって運航会社に補助金を現在支払っています。松山市としましても、まずはこの船の運航、これを続けていくための支援に力を入れていきたいと考えていますので、まずはご理解をいただけたらと思います。なお、もう一つのご質問につきまして、松山市が活動を支援している「松山里島ツーリズム連絡協議会」というのが中島にご 있습니다。島民の皆さんが島の自然や文化などを生かして、体験メニューをいっぱい行っていただいています。島の外から参加する方に対しましては、枚数に限りがございますが、帰りのフェリー代と自転車で島に来た方には自転車の運賃も無料になるチケットをお渡ししています。体験メニューの詳細につきましては、インターネットで「りとうめぐり」、この“りとう”は「里」ですね、古里の「里」と書きます。「さとしまめぐり」、「里島めぐり」、これを検索していただくか、お近くの公民館の方に設置しているパンフレットをご覧くださいまして、電話やメールでお申し込みください。今日来られている皆さんで、是非とも利用して島に遊びに行ってくださいと思います。

【市長】 はい。あと発言されてないのは垣生中学校さんだけになったかな、その認識でいいね。よしよし、よかった。絶対この時間帯の中で、全校のご質問を受けたかったんで良かったです。ちょっと私が説明させてもらった後に、広報タイムに救急車到着までの応急手当に行ってもらって、垣生中さんにトリを飾ってもらおうと思いますが、ちょっと私からね。中島行ったことある人、ちょっと手挙げてください。結構いらっしゃるね、下ろしてください

い。いい場所なんですよ。でね、私が就任させていただいてから、さっき課長さんも言われたけど、中島のパワが出ますかね。これ、あの「りとう」って普通、離れた島って書くんですけど、離れた島って言うから、ちょっと何かマイナス思考になっちゃうんですよ。この「里」っていうのは、元々中島に住んでいる人にとって故郷だし、中島以外の元々松山の人も北条の人も、ここはみかん畑があって、海があって、綺麗な裸足で歩いても気持ちのいい砂浜があって、本当にここは故郷みたいなどこじゃなと思ってもらえるように「里島」って書いたんです。離れた島じゃなくて「里島」。で「ほしふるテラス姫ヶ浜」と言って、松山市が建てて、松山市が運営している宿泊施設なんですけど、4年前の夏にできたんです。令和2年にはお客さん1,964人だったんですが、今4,000人近い人が泊まりに来てます。名前がいいでしょ、星降るテラスよ。中島の星は綺麗ですよ、本当に綺麗。トライアスロン中島大会では全国から中島大好きな人が集まります。これ私です。去年です。暑さ34度の中でしたけど走らせていただきました。リレートライアスロンの走る部門を担当させてもらって、10キロ走りましたが、中島中学校や小学校の子たちも、これ給水所とかでね、お手伝いしてくれています。本当にいい場所です。また皆さん中島を訪ねてもらったらと思います。「青潮寮」っていうね、寮があってね。今、1学年5人ぐらいだったかな、金曜日の夜には、松山の実家に帰ろうと思ったら帰って、月曜日の朝にはまた来るの。ほんで、月曜日の夜、火曜日の夜、水曜日の夜、木曜日の夜。金曜日の夜は実家に帰るけど「青潮寮」って寮で過ごすの。良いんですよ。結構人気でね。この取り組みは本当に島の人たちや先生方と一緒にやってよかったなと思っています。

広報タイム②「救急車到着までの応急手当」

【垣生中】 垣生中学校です。私達は「ゴミ問題」について考えています。私達の垣生地域では年に2回ほど今出ヶ浜清掃という地域の海を掃除する活動を行っています。景色が素敵な松山だからこそ、この環境を守り続けたいと思っています。そこで、他の地域でのゴミ問題に対する取り組みや、これからしていきたいという取り組みについて教えていただければと思います。お願いします。

【企画戦略課】 はい、ご質問ありがとうございます。ゴミ問題ということで、これ松山市もですね、いろいろゴミ減量というのを取り組んでいます。まず生活する上でゴミが発生しますので、そのゴミをいかに少なくしていくか、これは例えば無駄なものを買わないとか、捨てられるけどもう少しもうちょっとしたら食べれるかもしれないものをちゃんと管理するとか、いろんな方法があります。そういったもので、例えば残飯でも水を絞ったりとか、そういうことでゴミを減らすような取り組みっていうのもあります。他にも、外に落ちているゴミを拾うことっていうのもしています。地域に、企業や団体がそういったゴミの取り組みをボランティアでやっていただけるようなところっていうのもあって、協力していただけるところには、松山市がゴミ袋を配ったり、ゴミを回収したりとかっていうのをし

ています。市民大清掃もそうですが、みんなでゴミを少なくしようという取り組みを進めていてですね、ボランティアで地域でやろうというときにはですね、松山市の方に相談いただければ、お手伝いできることありますので、言っていただけたらと思います。

【市長】 はい。私からまず、全部の中学校さん、今日参加してもらってる中学校さんに質問してもらえて、ちょっとほっとしています。今、中学校でSDGsのこと勉強してるんじゃないかなと思うんですけど、僕らが子どものときはSDGsなんて言葉さえ言葉すらなかったもので、みんなは勉強しているんです。僕ら世代と違うな、今の子どもたちは立派だなと思うんですけど、やっぱり持続可能なまちを作っていけないといけないので、例えば、ゴミ処理場ってあるでしょ。ゴミ処理場で、ゴミを端的に言うと、燃やすのね。ゴミが少ない方が、燃やすことに対するコストが少なくて済むでしょう、ゴミ処理場って建てようと思ったら、多分結構なお金がかかるなって、みんな想像するじゃないですか、ゴミが少なかったら長持ちするんですよ。ということはそこに対するお金が少なくて済むっていうことになりますよね。ほやけん、みんなでちょっとずつゴミを少なくしていくってことが大事です。できることいっぱいありますんで、みんなと一緒に持続可能なまちを作っていければと思っています。

【市長】 残り6分ほどになりました。ちょっと自由にあの誰かに発言してもらおうかなと思ったんだけど、多分いける人1人か2人しかいけないので、ちょっと私の方でごめんなさい、締めさせていただきます。申し訳ない。なんであの子だけ質問できたんってなってしまってもいかなと思うんで、ちょっと私の方で締めさせていただきます。今日は、本当に参加してもらって、みんなの大事な夏休みの時間を費やしてもらって参加してもらってありがとうございます。本当によかったです。でね、中学生さん、もう半分大人ですよ。中学生さんの視点ってすごい大事だと思うんです。まちづくりで大事なものは「若者」・「バカ者」・「よそ者」って言うんです。若者の視点、よそ者の視点、バカ者の視点って言います。これバカってのは、本当にバカっていう意味じゃなくて、突飛な発想って思ってください。若者の発想で、よそから来た人、外から見た視点で突飛な発想、そういうものがとっても大事だと思っています。若者の視点はとっても大事で、今日言ったように中学生の意見で、松山市のまち作りをちゃんと変えていけるんです。なので、松山市はそんなところです。みんな「こども計画」のアンケートをしてもらったと思うけど、みんなの声をしっかりと聞いて反映しようとしています。だって、みんながこれからの松山のまちづくりの中心になるんよ。ほじゃけん、みんなのことはすごい大事。それで僕ら大人世代からみんなに伝言。道後温泉のことをちょっとお話ししました。ちょうどあの建物になって130年、だいぶ傷んできているところがありました。130年もしたら痛むよね、お風呂じゃけん、湿気が多いとこやけん、木はやっぱどうしてもそういうとこだと傷みやすいよね。だいぶ傷んできているところがあった。「千と千尋の神隠し」の湯屋のモデルの一つだといわれているんです。海外からもあの建物を目当てにお客さんがやってきますよね。でも、ほっといて

大きな地震が来て壊れてしまったのではいかんけん、道後温泉本館を平成31年から工事をしてきました。さっきも言った通り、みんなの世代にちゃんと松山の宝を受け継ぐためにやってきました。おかげで、5年半ぶりに7月11日から全館営業再開することができました。みんなのおかげです。若者の人に、また松山の魅力を知ってほしいな、また全国に発信したいなっていうことで、「東京ガールズコレクション」、こないだあったでしょう。そんな若者の皆さんに向けての取り組みもこれからもやっていきます。道後は一つできました。松山市駅、一番大きい私鉄の駅ですけど、1日に乗り降りする人が3万人もいます。実は30年前ぐらいから再開発せないかんねって言ったんやけど。まちづくりで難しいのは、関わる人が多ければ多くなるほど、まとまるのって難しくなるんです。市駅前ってバスのおもおるでしょ、タクシーのおもおるでしょ。路面電車を利用する人もおるでしょう、郊外電車のおもおるでしょう。駅前商店街のおもおるでしょう、高島屋のおもおるでしょう。関わる人が多くなればなるほど、まとまりにくいんじゃないやけど、お隣の花園町通りが綺麗になったけん、そんな影響もあったんか、まとまってくれて、市駅前も綺麗になります。令和8年の秋に向けて綺麗になりよる。あとJR松山駅。本当はね、「今ここの業者さんと話してます。ここまで来てます。」って言いたいんやけど、まだ言えんこともあるよね。交渉中やけん、「なんで松山市長さん交渉中の途中のことを言うてもたん」ってなって、オジャンになってしまってもいかんでしょ、確実にJR松山駅のところも交渉しています。みんな世代に残していくため、今銀天街も民間さんの再開発を松山市は全力で支援する。今ちょっと空き店舗が出てきているけど、再開発決まったってなったら、また新しく皆さん模様眺めしているから、また銀天街もお店出てくると思います。一番町の旧の国際ホテルさんのところも、これ民間の再開発だけど、今鋭意交渉をされているのを全力でバックアップしています。道後、市駅、一番町、銀天街、松山駅、ようなるよ、絶対による。必死でやってきた。みんなの世代により良い松山を残していくんだ、そんなつもりでそんな思いで、職員の皆さんと一緒にやってきました。受け継いでね。あの、どこでどういう生活するのも自由。大学は外に出よう、働いて外に出よう。大学卒業して外に出ようっていうんもいいと思う、様々だ。でもね、どっかに自分の育った松山を持っていてほしい。松山好きだな、嫌いやったらつらいけど、松山好きだなんていう気持ちを持っていてほしいと思います。3時が来ました。僕ら大人たちは皆さんに残していくために一生懸命これからも頑張りますんで、本当に今日は貴重なお時間いただきまして、ありがとうございました。頑張ってね。あの人生いいことばかりじゃない。ときにはつらいこと悪いこともあるけん、神様はしんどいことだけは与えんけん。しんどいときは、自分の人間の幅ができてるとき、いい根っこが伸びてるとき。いいことばかりの人生はないと思う、悪いこともあると思うけど頑張ってね。僕ら大人がみんなのことを一生懸命応援しています。今日は本当にありがとうございました。

了